福岡県文化賞受賞者一覧

回	年	創造部門	交流部門	社会部門	奨励部門	特別部門
1	H５	画家 野見山 暁治	ペシャワール会	嘉穂劇場 代表 伊藤 英子	篆刻書道家 師村 妙石	財団法人 九州交響楽団
2	H６	作家 森崎 和江	北九州国際音楽祭 音楽監督 新井 淑子	幸若舞保存会	作家 杉本 章子	葦書房 有限会社
3	H７	RKB毎日放送 ｴｸﾞｾﾞｸﾃｨﾌﾞﾌﾟﾛﾃﾞｭｰｻｰ 木村 栄文	アジア美術家連盟 日本委員会	遠賀川に鮭を呼び戻す会	作家・精神科医 帯木 蓬生	劇団 青春座
4	H８	画家 菊畑 茂久馬	福岡県 子ども劇場連絡会	筑豊青少年交響楽団 代表 伊藤 光	俳優 中西 和久	声楽家 渡辺 葉子
5	H９	建築家 葉 祥栄	クレイーアーチスト 髙鶴 元	北九州交響楽団	画家 井上 敬一	九州交響楽団 音楽監督 石丸 寛
6	H10	作家 村田 喜代子	飯塚新人音楽 コンクールを育てる会	漂着物研究家 石井 忠	鋳金家 遠藤 喜代志	ｸﾞﾗﾌｨｯｸﾃﾞｻﾞｲﾅｰ 松永 真
7	H11	作家 白石 一郎	筑後吉井の小さな美術館めぐり実行委員会	田川合唱団 代表 田中凡平	造形美術家 江上 計太	漫画家 松本 零士
8	H12	書家 松永 隆	社団法人 福岡県美術協会	福岡県地方史研究会 古文書を読む会	陶芸家 福島 善三	文芸評論家 星加 輝光
9	H13	作家 夏樹 静子 CGアーティスト 河口 洋一郎	特定非営利活動法人 アジア女性センター	日本史研究家 川添 昭二	（該当者なし）	ヴァイオリニスト 篠崎 史紀
10	H14	作家 髙樹のぶ子	彫刻家 外尾 悦郎	田川郷土研究会	映画監督 青山 真治	写真家 石川 賢治
11	H15	作家 佐木 隆三	胡弓奏者 趙 国良	筑豊博物研究会	久留米絣作家 松枝 哲哉	財団法人 末永文化振興財団
12	H16	写真家・随筆家 藤原 新也	雅楽演奏団体 筑紫 楽所	博多史・郷土女性史研究家 武野 要子	フルート演奏家 瀬尾 和紀	文学批評家 故・花田 俊典
13	H17	画家・版画家 川原田 徹	劇団 道化	音楽文化団体 ﾌﾞﾘｼﾞｽﾄﾝ 吹奏楽団久留米 口演童話家 本村 義雄	（該当者なし）	彫刻家 豊福 知徳
14	H18	博多人形師 中村 信喬	国際化ｺｰﾃﾞｨﾈｰﾀ ニック・サーズ	民俗研究家 佐々木哲哉	ｳﾞｧｲｵﾘﾆｽﾄ 南 紫音	博多織作家 小川規三郎
15	H19	声楽家 蓮井 求道	指揮者 フォルカー・レニッケ	出版社 有限会社海鳥社	劇団主宰 大塚ムネト	漫画家 長谷川 法世
16	H20	陶芸家・詩人 山本 源太		十八世紀音楽祭協会	建築家 松岡 恭子	
17	H21	キルト作家 山口 怜子		郷土史研究家 深町 純亮	写真家 百瀬 俊哉	
18	H22	作家 葉室 麟		庶民生活史研究家 堀切 辰一	能楽師和泉流狂言方 野村 万禄	
19	H23	作家 平野 啓一郎		日本文学研究者 前田 淑	映像ディレクター 江口 カン	
20	H24	染織家 築城 則子		福岡県立大学附属研究所生涯福祉研究センター・山本作兵衛さんを〈読む〉会	作家 西村 健	
21	H25	ピアニスト 占部 由美子		NPO法人ロシナンテス理事長 川原 尚行	精華女子高等学校 吹奏楽部	
22	H26	染織家 釜我 敏子		特定非営利活動法人まる	アクロス弦楽合奏団	
23	H27	作家 安部 龍太郎		北九州 フィルム・コミッション	ﾃﾞｼﾞﾀﾙｱｰﾄｸﾘｴｲﾀｰ／九州大学大学院芸術工学研究院学術研究員 工藤 達郎	
24	H28	美術家 田部 光子		福岡県立図書館 音訳の会	博多人形師 溝口 堂央	
25	H29	写真家 榊 晃弘		BOOKUOKA 実行委員会	和楽団ジャパンマーベラス	
26	H30	作家 東山 彰良 ゲームクリエイター ㈱レベルファイブ代表取締役／CEO 日野 晃博		漫才師 博多華丸・大吉	（該当者なし）	
27	R１	漫画家 うえやまとち		中洲ジャズ実行委員会	キャラクターデザイナー 谷口 亮	
28	R２	指揮者 小泉 和裕		アートスペース貘	作家 古川 真人	
29	R３	博多人形師 川﨑 幸子		山里の廃校利用美術館 共星の里 黒川INN美術館	クリエイター 中村 俊介	
30	R４	アニメーション監督 湯浅 政明		公益財団法人 福岡文化財団	人形師 中村 弘峰	
31	R５	能楽師観世流シテ方 坂口 信男 坂口 貴信		劇団ショーマンシップ	画家 田中 千智	
32	R６	詩人、作家、造本家 平出 隆		アーティスト・イン・レジデンス運営 松﨑 宏史	截金作家 江里 朋子	
33	R７	映画監督 石井 岳龍		料理研究家、管理栄養士、福岡女子大学客員教授 村上 祥子	小説家 鈴木 結生	

※H20年度から5部門のうち交流部門と特別部門を整理し3部門に統合した